

サービスニュース
(川崎油圧甲板機械)
KAWASAKI DECK MACHINERY SERVICE NEWS

発行日：2025年4月17日
書類番号：NO-25-005

件名：

油圧機器のメンテナンス推奨周期

当社製の油圧甲板機械の油圧機器について、メンテナンス推奨周期を別紙1の表1にまとめましたので、ご案内申し上げます。別紙2の事例に示します通り、各機器のメンテナンス不足は、機器の破損、油漏れによる海上汚染、油圧源喪失、係船不能といった緊急事態に発展する可能性があります。甲板機械の予防保全のため、表1に基づいて定期的に点検・整備・交換を実施いただくとともに、必要に応じてシール部品・完成品といった予備品を保有いただくことを推奨いたします。なお、各部品の納期及び整備交換に必要な工期については都度確認になりますので、担当の営業代理店までお問い合わせいただくようお願いいたします。

また、甲板機械のメンテナンスに関しては以下に示します日常点検、及び一般点検の実施を推奨しておりますので、あわせてご案内申し上げます。

・AS マニュアルに基づく日常点検・定期点検

当社発行の甲板機械 AS マニュアルにはウインチの各部品及び油圧機器に関して、点検箇所とメンテナンス方法を詳しく記載しております。AS マニュアルをご一読のうえ、本船乗組員殿にて日常点検及び定期点検を実施いただくようお願いいたします。

なお、AS マニュアルをお持ちでない場合は担当の営業代理店までお問い合わせください。

・当社技師による一般点検

当社技師による甲板機械の一般点検を推奨しております。一般点検ではウインチ本体及び油圧機器の外観検査のほか、各種計測、作動確認を含めた甲板機械全体の点検を実施し、各機器の状態を評価・報告いたします。詳しくは担当の営業代理店までお問い合わせください。

表 1 甲板機械用油圧機器のメンテナンス周期

機器名	メンテナンス推奨周期	メンテナンス不足による影響
油圧モータ	5～7年ごとの整備	油漏れ・海上汚染・係船不能
油圧モータユニット用バルブ (制御弁、カウンターバランス弁等)	5～7年ごとの整備	油漏れ・海上汚染・係船不能
油圧ポンプ	5～7年ごとの整備	油漏れ・油圧源喪失
油圧シリンダ (ブレーキ・クラッチ用)	5～7年ごとの整備	油漏れ・海上汚染
ゴムホース	5～7年ごとの交換	油漏れ・破裂
ローテックスカップリング用スパイダ	5～7年ごとの交換	油圧源喪失
チェーンカップリング	10年ごとの交換	油圧源喪失
電磁弁	10年ごとの交換	油漏れ・油圧源喪失
オイルクーラ垂鉛棒	半年ごとの清掃・点検	水漏れ・油中への水分混合・機器破損
フィルタエレメント	2年ごとの交換	油中への異物混入・機器破損

注 1) 表 1 の推奨周期はあくまで目安になります。作動油の清浄度や使用条件により整備・交換の周期は変わりますので、AS マニュアルに従った日常点検の実施、及び KHI 技師による一般点検をご検討いただくようお願いいたします。

甲板機械向け油圧機器のトラブル事例



油圧モータクロスカップリングの破損



油圧ブレーキシリンダからの油漏れ



電磁弁からの油漏れ



油圧ポンプからの油漏れ (スクリュウポンプ)



油圧ポンプからの油漏れ (斜板ポンプ)



カップリング用スパイダの破損